



管理経済常務
鎌田 昭一

組合員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

二〇二三年の新春をご家族お揃いでお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が発生して三ヶ年が経過しようとする中ですが、依然として感染者が確認され、収束への気配もない状況です。

そのような中、農産物においては、台風などの影響により一部で被害を受け、澱粉用甘藷・安納芋ではさつまいも基腐病の発生が継

続して確認されました。今後如何に病気の被害を抑えて産地を守るか対策を更に講じていく必要があります。

畜産においても、子牛価格は回復基調にあるものの、依然として厳しい取引価格が続いております。今後は全共鹿児島大会での鹿児島黒牛「日本一」を機に高値取引を期待するものです。

農業・農協を取り巻く環境は、ウクライナ情勢や急激な円安等の影響で予断を許さない状況ではあります。が、関係機関や農政連と連携をし、今後も組合員・地域住民に親しまれ信頼されるJAを目指し頑張っております。

結びに、新しい一年が皆様にとりまして最良の年となりますようご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



信用共済常務
古市 修二

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻が世界の食料事情を一変させ、円安も重なり、生産資材の高騰や台風14号等により、農業そして私たちの生活が甚大な影響を受けた年となりました。

また、長期化する新型コロナウイルス感染症により、年金友の会の活動をは

じめ社会的貢献活動も一部自粛したところです。

令和5年は、コロナ禍が終息し、穏やかな日常や活発な経済活動を取り戻せることを願っております。JAグループでは、豊かな食生活を、そして、日本の農業を、持続可能でより良いものとするため「国消国産」を重要なテーマとしていきます。未来につながる取り組みのもと、種子屋久の農業と暮らしをしつかり支える信用・共済事業を展開して参りますので、ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

結びに、卯年の二〇二三年が皆様にとりまして、飛躍する一年となりますようご祈念申し上げます。新年の挨拶と致します。

